

春を呼ぶ

'81の恋

お正月はやっぱり寅さん！新春第1弾



さくら
泣けてくらあ
江差の海の
友呼ぶ鷗と波の音
人恋し、寅さん
ひとり旅。

山田洋次 原作・監督

脚本 山田洋次・朝間義隆
撮影 高羽哲夫 音楽 山本直純 製作 島津清

男はつらいよ

寅次郎かもめ歌

最新26作

渥美 清／倍賞千恵子／伊藤 蘭 他おなじみレギュラー陣

純平八千代の黒潮ロマン 日本全土に爆発！

青春のバイブル ああ熱い人気漫画が
ついに映画になった！

松竹・キティ 提携作品

土佐の一本釣り

純平 加藤純平 (本人)

八千代 田中好子

他豪華メンバー出演中

監督 前田陽一

原作 青柳裕介 (小学館刊ビッグコミック連載)

製作 沢村国太郎・金田晴夫 脚本 前田陽一・松原信吾 撮影 長沼八男 美術 重田重盛 音楽 川辺真

土佐の 一本釣り

◆スタッフ

原作 (小学館刊「ビッグコミック」連載) 青柳裕介
製作 沢村晴国
脚本 佐藤正夫
監督 松本信吾
撮影 沼田陽一

◆キャスト

純平 加藤 樹子
八千代 藤 京子
多子 中 美子
船三郎 山 口 敦子
九石 成 美子
代田 三 樹子
巡査 松 樹子
中 年 男 勝 三人

男はつらいよ

◆スタッフ

製作 高島 忠夫
企画 小 島 俊一
脚本 朝 田 俊次
監督 山 田 次郎
撮影 山 田 次郎
音楽 山 田 次郎

◆キャスト

寅次郎 伊 藤 雄之助
青 山 巡 査 米 村 達也
林 先生 松 崎 英子
スルメ工場のおばさん 菊 地 貞 子
竜 造 村 松 崎 英子
つ ね 下 倍 村 松 崎 英子
博 男 前 崎 千恵子
満 社 長 中 崎 千恵子
源 公 長 佐 崎 千恵子
御 前 様 佐 崎 千恵子

『土佐の一本釣り』は、若者向けコミック誌「ビッグコミック」に昭和50年から連載中の人気まんがで、南国土佐の豪快なカツオ漁を背景に、日本の美は亭主閑白と海の青さだ」と信じる16才の男一匹・純平の「つっぱり人生」を、二十年以上の恋人・八千代との恋をからませながら描いた快作の映画化です。

原作の人気の秘密は、〈好きならだまっていてこい〉とイキがってみせる純平の生き方(そのエネルギー)、彼についていく八千代の情熱(その愛の強さ)、です。それは、日本の若者たちが遠くへ捨て去ってしまった「男らしさ」「女らしさ」の復活です。

純平役は、二千三百余人の応募者の中から選ばれた加藤純平で、正にマンガから抜けだしたような、純平のイメージぴったりの話題の新人です。

八千代に扮するのは、元キャンディーズの人気者「スーちゃん」こと田中好子で、この作品が映画初出演です。歌手から女優へ、彼女のすべてを賭けて八千代役に体当たりしています。

二人を助ける俳優陣は、穴戸錠、樹木希林、山口美也子、亜湖、成田三樹夫、志賀勝、岡本信人等、バラエティに富んだ芸達者たちです。

監督は、昭和39年「にっぽんばらい」でデビューして以来、前作「神様のくれた赤ん坊」まで、傑れた喜劇を演出してきた才匠・前田陽一。脚本は前田と松原信吾、撮影・長沼六男、美術・重田重盛、音楽・川辺真等、松竹が誇るベスト・スタッフです。

冬が近づき寒さを肌で感じる頃になりました。この頃になるとみんななんとなく思い出す人物がいます。ダボシヤツに雪駄姿の寅さんこと寅次郎——彼は今頃どこを何をしていることでしょうか。

人が人を信じることをためらいがちな、こんな時代だからこそ、私たちも寅さんに、いつも人を信じ、愛し、元気で頑張りたいと思うのです。この思いは「とらや」のおいちゃん、おばちゃん、さくら、博だけでなく、日本人のみんなの思いではないでしょうか。

「男はつらいよ」シリーズも数えて12年目、旅から旅、恋から恋の寅次郎のお話も26作目をむかえました。今回は題して「男はつらいよ 寅次郎かもめ歌」。

旅の途中で知らされた昔のテキヤ仲間の死、寅は墓まいりに北海道は江差へやってきた。仲間のひとり娘すみれは工場で働いている。どこか幸せ薄い彼女を寅は誠心誠意なくさめ激励する。ある日娘が柴又の「とらや」へやってきた。東京で働きながら勉強したいと云うすみれ。博、さくらそして寅のかいがいしい努力の甲斐あつてか、すみれは夜間高校に合格、新しい毎日が始まった。ちよつと可愛い彼女のこと、すぐにクラスで人気のまこと。気が気でないのが寅さん。すみれが身を案じイライラ、ハラハラする姿は本当の父親以上。だがある日、ひとりの青年が「とらや」を訪ねてきて……。

今回は、渥美清、倍賞千恵子、前田陽一、三崎千恵子、下條正巳、太宰久雄らおなじみとらや一家が元気に出演するのに加えて、ゲストには元キャンディーズ、伊藤蘭が決定、芸達者にまじって女優として本格的な道を踏み出す。

演出は、寅さんシリーズ生みの親で日本中の寅さんファンに涙と笑いを贈りつづけている山田洋次監督があたり、スタッフも寅さん映画のベテラン揃いで今回もおおいに腕をふるいます。

12月27日全松竹系大公開

音協特別鑑賞券 1,050円 (当日・一般 1,500円の処)

銀座 松竹 (541) 1786
銀座文化・1 (561) 0707
浅草 松竹 (841) 2022
池袋 松竹 (971) 1077
新宿 松竹 (354) 2414
上野 松竹 (831) 4963
渋谷 松竹 (400) 1477
歌舞伎町新宿座 (209) 4338
池袋 日勝 (971) 9437
楽天地シネマ・1 (631) 3121
蒲田ロキシー (738) 0010
吉祥寺 松竹 (481) 6551
松竹大宮ロキシー (421) 5321
川崎ロイヤル (233) 9381
相鉄 中央 (311) 5573
横浜 松竹 (261) 2790